

# 2017年2月 第43回 明科いいまちサロン

平成29年2月28日(火) 10:00~12:00 於 明科公民館講堂

## 荻原 碌山の足跡



宮川副代表開会の挨拶



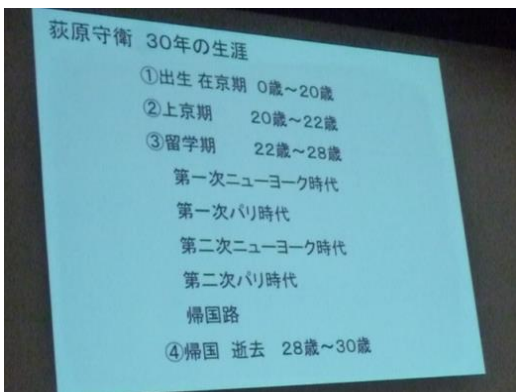
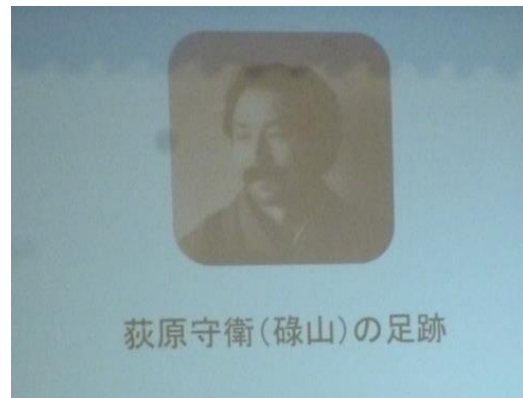
講師 浜田卓二学芸員



お茶を飲みながら団欒する参加者



講師紹介をする浅見さん



1894(明治27)年 15歳 東横高舞会入会  
 1896(明治29)年 17歳 守衛は心臓病を患う  
 農家の五男でありながら病気を患い、家業が手伝えなくなる。  
 自身の将来について思い悩み、天職について考える。

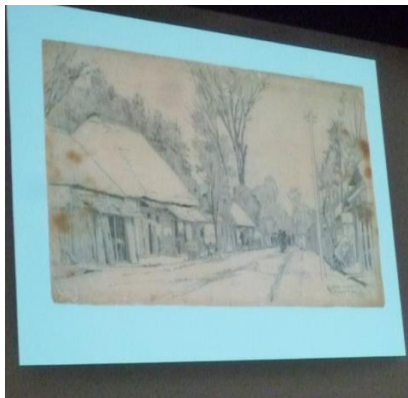
1897(明治30)年 18歳 相馬黒光と出会う  
 舞踏会活動や相馬愛蔵が指導する夜学の会は相馬家で行われていた。  
 愛蔵の元に仙台出身で東京の女学校卒業した黒光(相馬良)こと黒光  
 が嫁いでくる。守衛は黒光の誇り高い文章誌に感動する。  
 嫁入り道具の油絵・日曜学校のオルガンは始めて見た西洋であった

1898(明治31)年 19歳の土上未達  
 松本の医者に行くと言って家を出て、井口に理髪家になると告げ  
 保福寺神を越えて上田まで出たが、守衛の父親が夜を徹して追いかけて  
 家に連れ戻される。

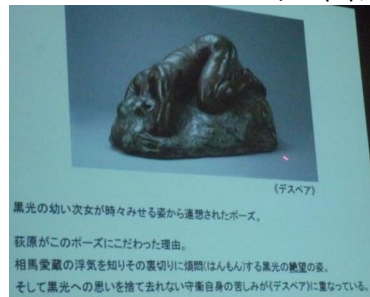
1899(明治32)年 20歳 初めての東京  
 井口暮瀧治らと上京する。フォリス女学院・帝國議會・上野の博物館  
 を見学。黒鷲の明治女学校に行き校長 巖本善治と信仰について談話する。

種高に帰って来てからは絵の勉強に励み、絵描きを将来に目的と見定める

同年 10月 絵描きを志し上京。

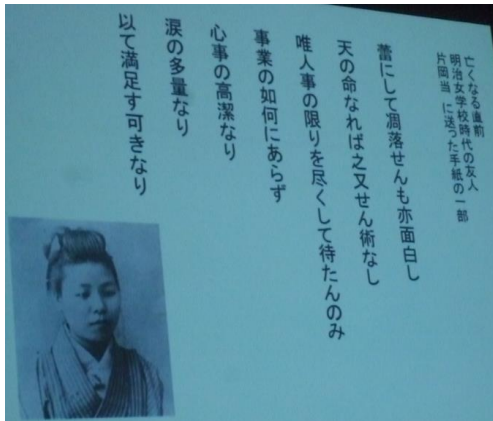
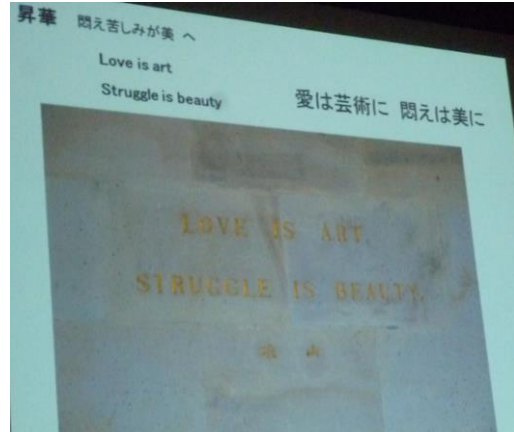
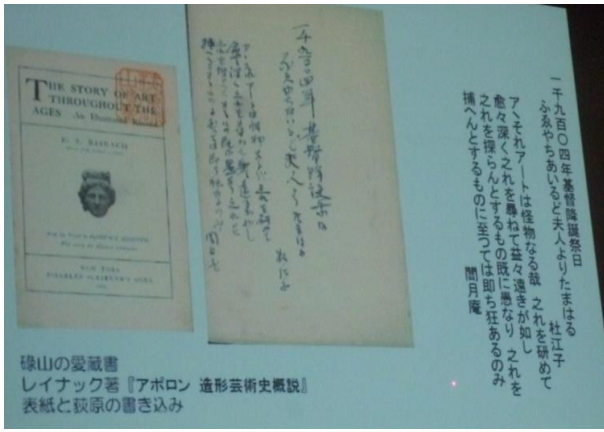


パワーポイントを使用し講義する浜田学芸員



パワーポイント使用による講演会





碌山美術館展示品及び愛蔵書他



講演内容について質問する参加者



講演内容について質問する参加者

質問に応える浜田学芸員



安井公民館長 お礼のあいさつ



安曇野市歌斉唱

今月の第43回明科いいまちサロンは、郷土の生んだ早逝の天才彫刻家萩原碌山にスポットをあて碌山の生涯や碌山美術館について、学芸員の浜田卓二氏から講義を受けた。

当日は、地域内外から60名余の参加があり盛会であった。いつもどおり、おもてなし隊の皆さんによる、お茶うけをいただきながら団欒し、その後浜田学芸員より講義をうけた。(お茶うけはやしろうまと漬物)

明治12年に生まれ30歳の若さで逝ってしまった、という驚きと遺した物の偉大さに改めて感動を覚えました。

講義終了後には、質疑応答の時間もあり、展示品、美術館建設、友人関係、死についての質問があった。

次回は、3月28日(火)開催です。世代間交流会人形劇です。大勢の方の参加をお待ちしております。